

【専門部会の構成団体】

栄小学校区コミュニティ協議会

役員会 (予算、事業運営、部会、他団体との連絡調整)

専門部会 (事業の実施、原案作成、活動)

Table with 5 columns: 部会名, 総務部会, 安全・環境部会, 厚生・文教部会, 自主防災部会. Each column lists constituent organizations like 保護司会, 栄小子供セーフティスタッフ, etc.

【平成22年度 事業実施報告】

Large table with 3 columns: 部会名, 月日, 主な活動内容. Lists activities for 総務部会, 安全・環境部会, 厚生・文教部会, and 自主防災部会.

編集後記

三寒四温の時節三月中旬というのに今年は雪が降ったり止んだりの日が続きますが健康に留意して明るく暖かい春を待ちたいと思います。栄コミ協に有意義な御意見御要望がありましたら総務部へ御一報お願いいたします。発行：栄小学校区コミュニティ協議会総務部会 発行責任者 久我 隆利

栄ふれあい

第4号

平成23年3月31日

栄コミ協の最重要事業

栄小学校区コミュニティ協議会

副会長 戸川 芳孝

日頃栄コミュニティ協議会の活動にご理解、ご支援をいただきまことにありがとうございます。

皆様ご承知の通り、2月22日ニュージーランド南部にM6.3の地震が発生し、日本人28名を含む22余名の方々の方が亡くなりました。

国内では1月19日に新燃岳が噴火し現在も降灰や噴石そして泥流や土石流の危険にさらされています。

災害のなかには、いつ、どこで、どの程度の規模で発生するか事前予測できる場合もありますが、前述の災害の様に大部分は何の前触れも無く突然襲ってきます。

従って、「自分たちの町は自分たちの手で」をメインテーマとしている栄コミ協では、各専門部会の事業計画の中でも防災に関する講演や、災害時要援護者の対応を含めた防災訓練を最重要事業として活動しております。今年4回目の防災訓練を行いました。今年度は4回目の防災訓練を行いました。回を重ねる度に参加者数が減少しています。防災訓練は1～2回参加したら良しとするものではありません。訓練内容を身につけるには実践回数に勝るものではありません。訓練や講演等に積極的に参加され、やり方や知識を習得すると同時に、参加された地域の方々との絆を深めて下さい。

訓練に参加する最終目的は、「自分の身を守る為」「家族を守る為」そして「地域の方々を守る為」です。以上宜しくお願い申し上げます。



地域との連携で 明るい社会をめざします

新潟中央地区保護司会 中央東分区

分区長 川村 一郎

中央東分区には、現在5名の保護司が所属しており、新潟島のおおよそ榎谷小路から下手の地域を活動の範囲としています。

毎年7月を「社会を明るくする運動」の強化月間としています。この運動は犯罪や非行を予防し、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない明るい社会を築きましようとする法務省が主唱する全国的な運動です。

昨年60回目を迎え、当地区保護司会では7月3日に古町十字路を中心に、街頭広報活動を行いました。

また毎年7月頃から「愛の協力運動」として、「保護観察協会会員募集」を行っています。具体的には、保護司が地域内の町内・自治会長さんへ会費という形で募金をお願いしています。この募金は犯罪予防活動や罪を犯した人達の立ち直りを援助する活動などに活用させていただいております。今までのご協力にお礼申し上げますとともに、今後とも宜しくお願いいたします。

「社会を明るくする運動」の一環として、全国の小中学生を対象に「犯罪や非行について考えたこと、感じたこと」をテーマにした作文コンテストが毎年行われています。昨年は、舟栄中学校の松野泰知君の作文「犯罪の重み」が中学生の部で、最優秀賞（新潟県推進委員会委員長賞）を受賞しました。本当におめでとうございます。

当分区では11月にミニ集会（座談会）を開催しました。地域内の2中学校、2交番、4小学校区の防犯協会、主任児童委員の方々からご参加いただき、それぞれのお立場から犯罪の予防や青少年の非行の防止、学校の様子、地域の抱える問題等をお話ししていただきました。そして意見交換を通じて共通の認識を得ることができました。

これからも地域の皆様と連携を密にして力を合わせ、安全で安心して明るく暮らせる町づくりに努めたいと思います。



総務部会

総務部会 部長 久我 隆利

栄小学校区コミュニティ協議会 最初は違和感がありましたが、創設以来五年を経て私共地域の大切な栄コミ協となりました。いつでも、だれでも、声をかけあえる明るい住み良い、安心安全な町を目的の初心に戻り皆様方のご協力の総務部頑張ってまいりたいと思います。



厚生・文教部会

厚生・文教部会 部長 吉沢 秀夫

栄コミュニティ協議会も設立5年目を迎えて地域の各組織団体及び栄小学校、舟栄中学校、社会福祉協議会等々と密接な協力関係が強化され地域の皆様方にも関心度を高めて参りました。

厚生・文教部会では昨年10月30日に生活習慣病の講習会を専門講師を招いて開催致しました。多くの参加者があり質問、意見交換等大変意義深い内容で参加者の皆さんに喜ばれました。

普段健康に自信がある方も健康生活に対しては何らかの悩みを抱えている事がこの講習会を通して改めて痛感致しました。

高齢化が進み一人暮らしの方が増えている地域ですが学校との協調・協力が加わり生徒さんが、地域に溶け込んで災害時における援助・協力を始めいろいろな面で活動が展開され、次世代を担う生徒さんに期待が持たれています。

地域住民の安全で安心な暮らしを目指して栄コミュニティ協議会は皆様方の協力を得ながら活動していきたいと思っております。



安全・環境部会

安全・環境部会 部長 中川 治平

栄校区街頭パトロールを、毎月一回実施し子供達の安全を守り、日中や夕方、あるいは夜間にと時間を変更して巡回し、良い成果を得たと思います。又児童の登校時には、交通安全推進員や、セーフティスタッフの皆さんが街頭に立って見守って頂き交通事故もなく大変嬉しく思っています。

10月には安心安全県大会に参加し、新潟ユニゾンプラザで開催され他の地域のパトロールの様子等がスライド見て講師の方のお話を聞いたりして、勉強になりました。



防災部会

防災部会 部長 吉江 常浩

『SOS』校庭に書かれた、白いラインがテレビに映し出された時、1964年に起きた、新潟地震の屋根に書かれた文字が、一瞬頭を過った。

東日本大地震、広範囲の未曾有な災害が起きた。高台以外の街並が跡形も無くなり大勢の人々が被災した。津波の恐ろしい力がテレビの画面に映しだされ、自然の驚異の恐ろしさに身の縮む思いがした。

栄防災会も、毎年防災避難訓練等を行なっていますが、あらためて普段からの災害に備えて行かなければと思います。昨今、災害時に個人情報保護が先か？人命確認が先か？当然後者と決めていかなければならないと思います。

普段から「向こう三軒両隣」のお付き合い、声掛けが災害時には、大変役にたつと言われています。もし、災害が起きた時には、自治・町内会長さん等の指示のもと、お互いの安全を確認し、各町内に指定された一時避難所へ、そして行政の指定している避難所へ移動……



栄防災会も総合防災訓練を行い、日頃の皆さんの防災意識の高揚に役立つように活動してまいりたいと思います。昨年は、市を介して国より災害時に使用出来る、資機材が支給されました。使用しないことがなによりですが、総合防災訓練の中で、誰でも使用出来るよう活用してまいります。

